

## 一般路線バス（乗合バス）の上限運賃改定申請について

サンデン交通株式会社（本社：山口県下関市、代表取締役社長：竹重 秀敏）は、2025年3月28日、中国運輸局に一般路線バス（乗合バス）の上限運賃改定認可申請を行ないました。申請理由および申請概要等は次のとおりです。

日頃よりご利用のお客様には、ご負担をお掛け致しますが何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 申請理由

当社では安全運行を最優先に掲げ、バスロケーションシステムの導入や交通系 IC カード『nimoca』のサービス開始等、お客様が安心・安全・快適にご利用いただけるようサービス環境の改善に努めながら、2012年4月の前回改定以降（消費税率改定によるものを除く）約13年間、運賃を変更することなく輸送サービスを提供してまいりました。

しかしながら、少子高齢化や人口減少によるバス利用者数の減少が続き、近年においては新型コロナウイルスの感染拡大の影響による移動需要の低迷や生活様式の変化もあり、収入面において厳しい状況が続いております。

また、慢性的に不足している運転手の確保に向けた待遇改善を伴う人件費の増加、原油価格や車両部材費の高騰、バス車両や設備の定期的な更新や安全対策・利便向上に向けた取り組み、営業所施設の改修等の各種費用の増加が見込まれ、当社バス事業を取り巻く経営環境は一層厳しさを増すと予想されます。

バス事業は通勤、通学、買い物、通院等の市民生活において欠かせないものであり、特に高齢化が進んでいる昨今においてバス事業の果たす役割は極めて重要であると認識しております。このような状況の中で今後も出来る限りの経営改善に努めてまいりますが、バス事業の安定的な継続を図りバス事業者としての使命を果たしていくために、お客様には多大なご負担をお掛けすることになりますが、今般、上限運賃の改定を申請いたしました。

## 2. 申請内容

- (1) 申請日 2025年3月28日(金)
- (2) 運賃改定実施予定日 2025年8月頃を予定しております。  
認可後に改めてお知らせいたします。
- (3) 申請対象路線 当社が運行する一般乗合バス路線
- (4) 上限運賃※1の平均改定率 17.9%

なお、実施運賃※2に関しては上限運賃より低額な実施運賃といたします。

実際の平均改定率は7.6%程度を予定しております。

※1「上限運賃」とは、事業の経営に必要な原価に応じて算出されるバス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

※2「実施運賃」とは、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様から収受する運賃のことです。

### (5) 現行・申請上限運賃額比較表

	現行実施運賃	申請上限運賃	実施運賃(予定)
初乗り運賃	190円	230円	230円
同定期券 一般 1ヶ月	7,890円	9,660円	9,660円

### (6) 主要区間の運賃

区間	片道運賃		定期券(一般1ヶ月)	
	現行運賃	実施運賃 (予定)	現行運賃	実施運賃 (予定)
下関駅～唐戸	220円	260円	9,140円	10,920円
下関駅～東駅	250円	290円	10,380円	12,180円
下関駅～彦島営業所	280円	320円	11,630円	13,440円
下関駅～城下町長府	390円	430円	16,200円	18,060円
下関駅～安岡	410円	450円	17,030円	18,900円
下関駅～小月駅	600円	640円	23,850円	25,800円

- ・片道運賃、各種定期券(区間定期、フリー定期、ロングライフパス)も値上げをする予定です。  
改めてお知らせいたします。

### 3. 乗合バスの輸送人員及び収支状況

		輸送人員	収支状況
実績年度（2023年度）		7,855千人	▲917百万円
2025年度見込み※	改定前	7,850千人	▲911百万円
	改定後	7,659千人	▲639百万円

※2025年度見込みは、上限運賃を適用した場合の推定値です。

### 4. これまでの経営合理化状況やサービス向上の取組みと今後の取組み

当社では2020年10月策定の「下関市公共交通再編実施計画」による運行効率化や路線・系統の新設・再編をはじめとして、実際の運行やご利用実態に応じた運行計画の見直しなどのダイヤ改正を随時実施してまいりました。また、運行計画に沿った保有車両台数の見直しによる投資や設備費の圧縮、エコドライブの推進などによる燃料費の削減、アナログ作業のデジタル化などの業務効率化による人件費の削減などの経営改善を進めてまいりました。

乗合バスにおいては2016年7月にバス系統番号の見直しを行ない、方面や経由によって法則性のある番号を表示することで日常利用のお客様はもちろん、外国人観光客の方にも分かりやすくご利用いただけるように改善いたしました。さらに2018年4月にはバスロケーションシステムを導入し、バスの運行状況や位置情報などがお客様のスマートフォンや主要バス停に設置したデジタルサイネージで分かりやすくご覧いただけるようになりました。

2021年3月には全国相互利用サービス対応の交通系ICカード『nimoca（ニモカ）』のサービスを開始し、同時に定期券のICカード化や指定エリア内が乗り放題となるフリー定期券を販売開始いたしました。現在では定期券をご利用の方の約8割がフリー定期券となり、利便性の向上やスムーズな乗降車の向上につながっております。

また、小学生のお客様を対象に夏休み期間中に一般路線バス全線が乗り放題となる夏休みIC定期券「SAN★SUNパス（サンサンパス）」の発売や、夏休みや冬休みなどの長期休み期間中に小学生以下のお子様を対象とした運賃割引キャンペーン「こども50円バス」の実施など、身近で便利な乗り物として積極的にバスを利用していただけるようなきっかけ作りにも努めております。

2025年2月の車両更新をもって一般路線バスのノンステップバス（出入口の段差が無く、床面が低床のバス車両）導入比率が100%となり、小さなお子さま、ご高齢の方や障がいをお持ちの方をはじめ、多くの方が快適にご利用いただけるようにいたしました。

安全・安心な運行のために日常的な運転手の指導・教育はもちろん、ドライブレコーダーを活用した事故事例やヒヤリハット事例の共有による事故防止の推進や安全意識の向上、バスジャック対応訓練への参加や、管理者も含めての安全に関する研修や会議などを引き続き実施いたします。また、すべての運転手を対象としたSAS（睡眠時無呼吸症候群）検査や脳ドック検査を継続

き実施するとともに、ドライバー異常時対応システム（EDSS）搭載車両の導入を拡大するなど、健康起因事故の防止に努めてまいります。

今後も運転手の安定的な確保と運転技術や接客・接客教育の実施による人材育成の実施、バス車両の定期的な更新や ICT 技術の導入・活用など、公共交通機関としてお客様へ将来にわたり安心・安全・快適な輸送サービスを継続提供できるよう、努めてまいります。

以 上

本件に関するお問い合わせ先  
サンデン交通株式会社 自動車部（083-232-7775）  
8時30分～17時30分（平日のみ）